

中国生活者の日本におけるウィンタースポーツ体験に対する意識や行動を分析

訪日中国人に支持される北海道のスノーリゾート！

ウィンタースポーツだけではなく雪景色など観光も両方満喫したい

株式会社北海道博報堂（本社：北海道札幌市中央区、代表取締役社長：左近成弘）の新どさんこ研究所および株式会社博報堂D.Y.ホールディングス（本社：東京都港区、代表取締役社長：水島正幸）の研究開発部門であるマーケティング・テクノロジー・センター（以下MTC）、中華人民共和国（以下中国）のライフサービスオンライン検索プラットフォーム「美团」の広告部門Meituan HKは、中国人生活者を対象とした「インバウンド予報調査（第4回）」を共同で実施しました。

■日本におけるウィンタースポーツ体験に対する中国生活者の意識や行動にも着目

2022年より実施している「インバウンド予報調査」は、MTCと「美团」の広告部門Meituan HKの継続的な共同研究として、美团が保有する生活情報プラットフォーム「大衆点评」のビッグデータを活用しているものです。このたびの第4回調査では、中国人生活者の3か月後の訪日意欲を表す「インバウンド予報指数」の算出や訪日目的・訪日意識（※）に加え、日本におけるウィンタースポーツ体験に対する中国生活者の意識や行動にも着目し、今後の中国生活者に向けたインバウンド関連ビジネス強化のヒントを探りました。

<調査結果サマリー>

- ◎訪日目的は、訪日経験のある層において「四季の体感」「スキー・スノーボード」が20ポイント以上上昇しており、**季節ごとに特別な体験が求められる**傾向が顕著。
- ◎日本でウィンタースポーツを楽しみたい理由は、「日本特有の美しい雪景色を見たい」が最も高く、「観光を同時に楽しみたい」など**ウィンタースポーツそのものよりも観光と一緒に楽しむ意識が強い**。
- ◎日本で利用したいスノーリゾート：は、「札幌エリア」が最も高く、「ニセコ」・「富良野」など**北海道のスノーリゾートが上位を占めた**。
- ◎日本のスノーリゾートを選ぶ際のポイントは、「宿泊施設の質」「スキー場のレビュー・評判」がともに最も高く、「物価または費用」「主要観光地からのアクセス」「温泉の有無」が続くなど、**スノーリゾートでの観光を効率よく確実に楽しみたいという気持ち**が強い。
- ◎日本のスノーリゾートやスキー場に求める改善点としては、「主要観光地との間の送迎サービス」が最も高く、「周辺エリアの楽しみ方の提案」「冬季イベントの充実」と続き**課題も浮き彫りに**。

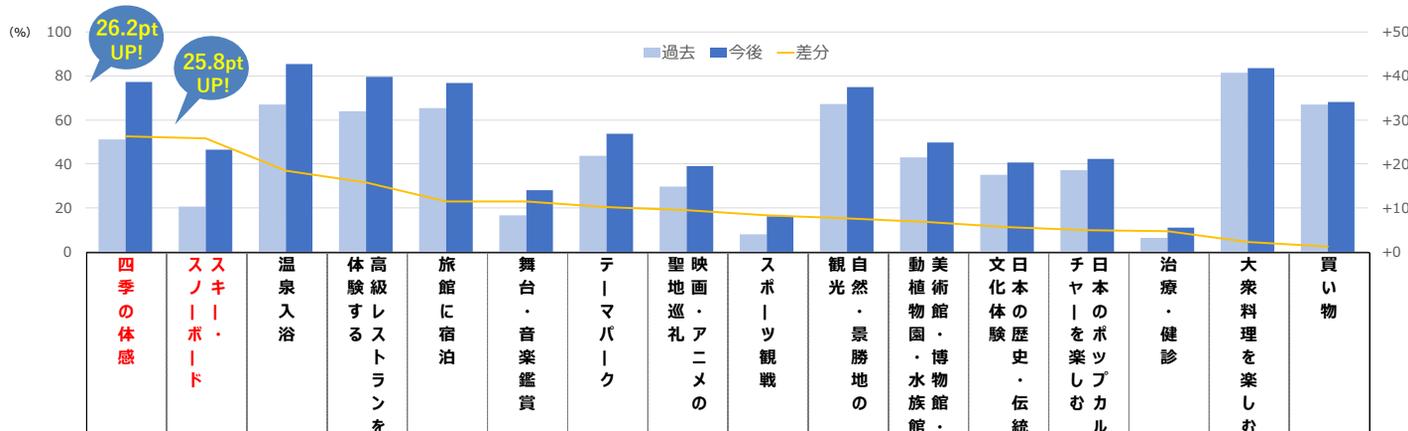
<調査結果>

●訪日目的：

- ・訪日経験のある層で今後の訪日目的と過去訪日時の目的との差分を比較したところ、「四季の体感」と「スキー・スノーボード」が20ポイント以上上昇しており、季節ごとに特別な体験が求められる傾向が顕著に表れています。

Q. これまで、訪日旅行の際に何をしましたか。（複数回答）

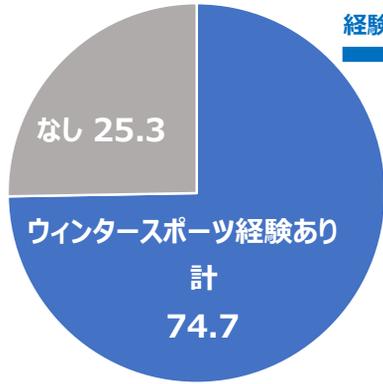
Q. 今後、訪日旅行の際に何をしたいですか。（複数回答）



●ウィンタースポーツの経験：

- ・全体の7割以上が「ウィンタースポーツ経験あり」となっており、中でも「中国国内で体験したことがある」が59.9%と最も高く、中国国内での経験がベースとなっているようです。
- ・訪日経験が「2・3回」「4回」では、「日本で体験したことがある」が全体に比べて高く、訪日リピーターがけん引していることが伺えます。

Q. あなたはスキーやスノーボードなど、ウィンタースポーツを体験したことがありますか。（複数回答）



経験ありの内訳

- 全体
- 日本を訪れたことがない
- 1回
- 2-3回
- 4回以上

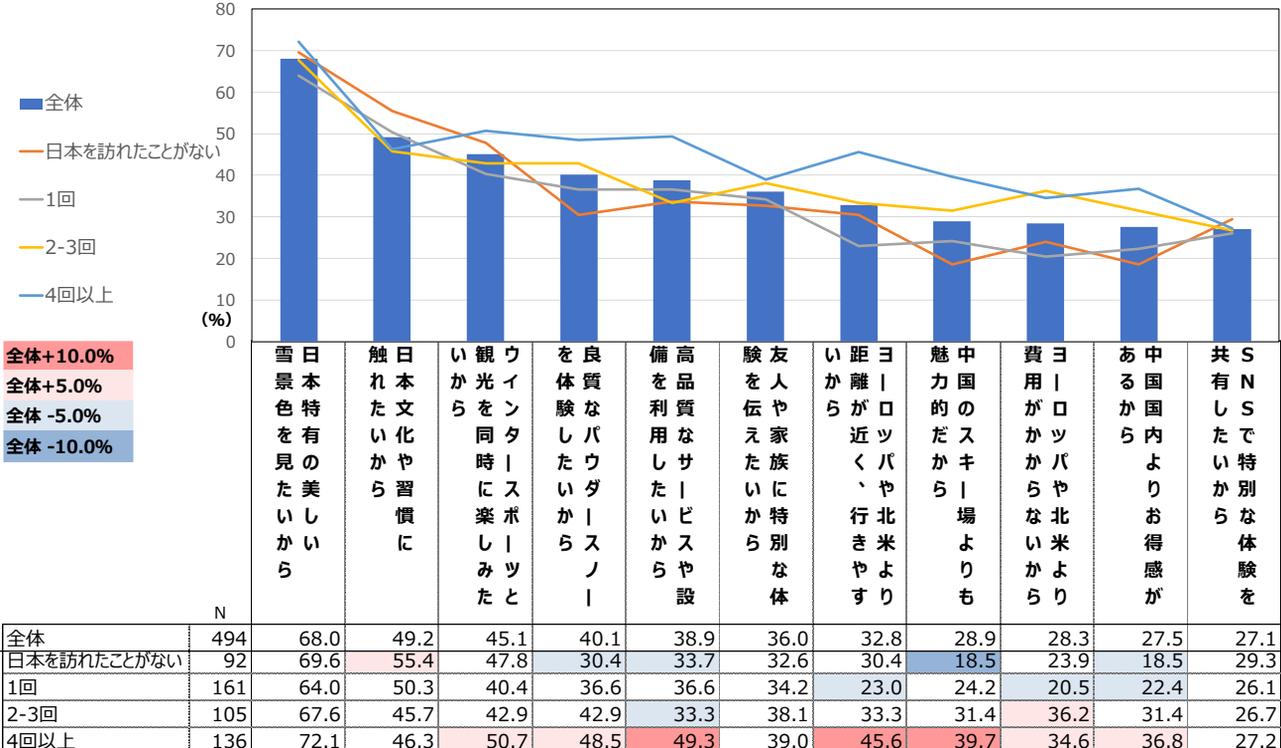
全体+10.0%
全体+5.0%
全体-5.0%
全体-10.0%

	N	た中国国内で体験したことがある	と日本国内で体験したことがある	あるヨーロッパや北米	と1回も体験したことがない
全体	546	59.9	26.7	9.0	25.3
日本を訪れたことがない	100	59.0	7.0	5.0	36.0
1回	173	62.4	23.7	2.9	22.5
2-3回	116	60.3	37.9	16.4	17.2
4回以上	157	57.3	34.4	12.7	27.4

●日本でウィンタースポーツを楽しみたい理由：

- ・「日本特有の美しい雪景色を見たいから」が68.0%と最も高く、「日本文化に触れたいから」「ウィンタースポーツと観光を同時に楽しみたいから」が続き、パウダースノー体験よりも日本の雪景色や観光を一緒に楽しむ意識が高いことがわかりました。
- ・訪日経験が「2・3回」「4回」では上記の意識に加えて、ヨーロッパや北米よりも近い点が好まれており、コストも抑えられる分「高品質なサービスや設備の利用意向」が高い結果になっているようです。

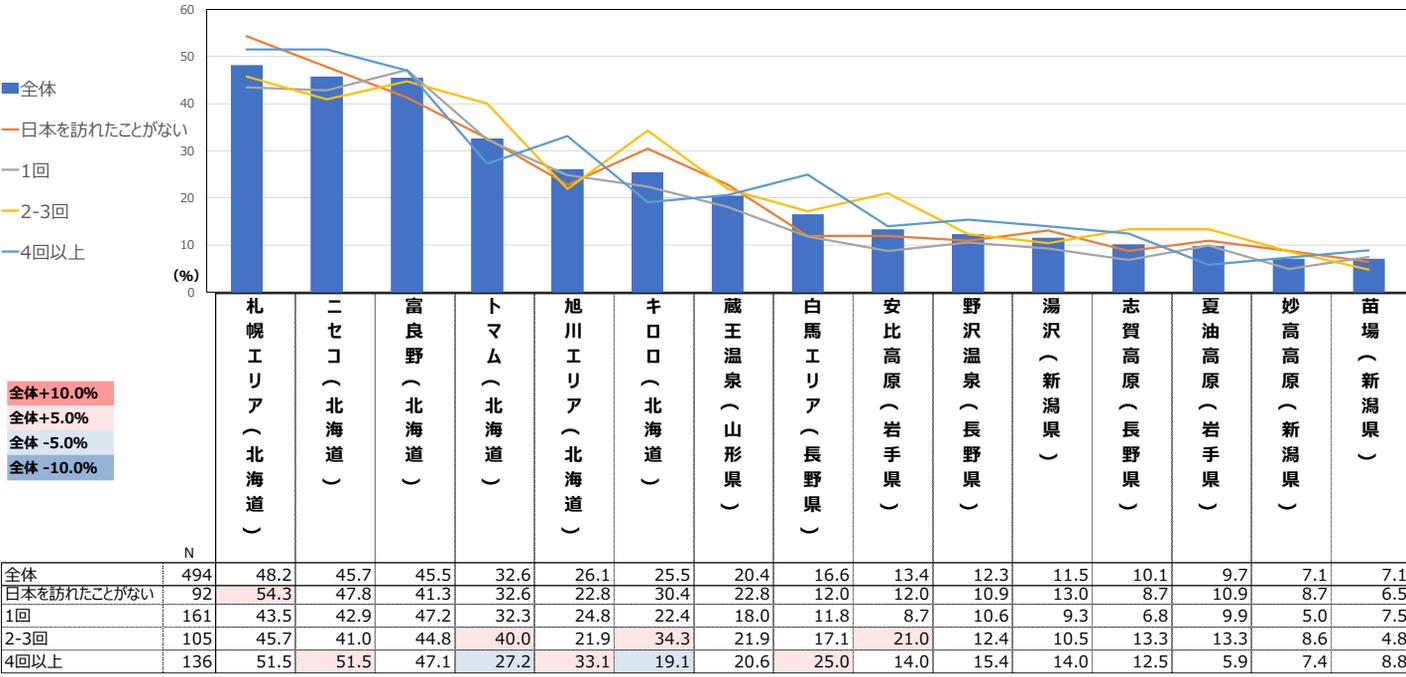
Q. あなたは今後、日本でスキーやスノーボードなどのウィンタースポーツを楽しみたい主な理由は何ですか。（複数回答）



●日本で利用したいスノーリゾート：

- ・「札幌エリア(北海道 以下同)」が48.2%、「ニセコ(同)」(45.7%)、「富良野(同)」(45.5%)など北海道のスノーリゾートが上位を占めました。
 - ・訪日経験「4回以上」では「ニセコ(同)」と「旭川エリア(同)」が同スコアで、「白馬エリア(長野県)」など北海道内他エリアや本州のエリアへ行動範囲が拡大しているようです。
- 観光とウィンタースポーツの両立を求めて各地へ訪れている様子が伺えます。

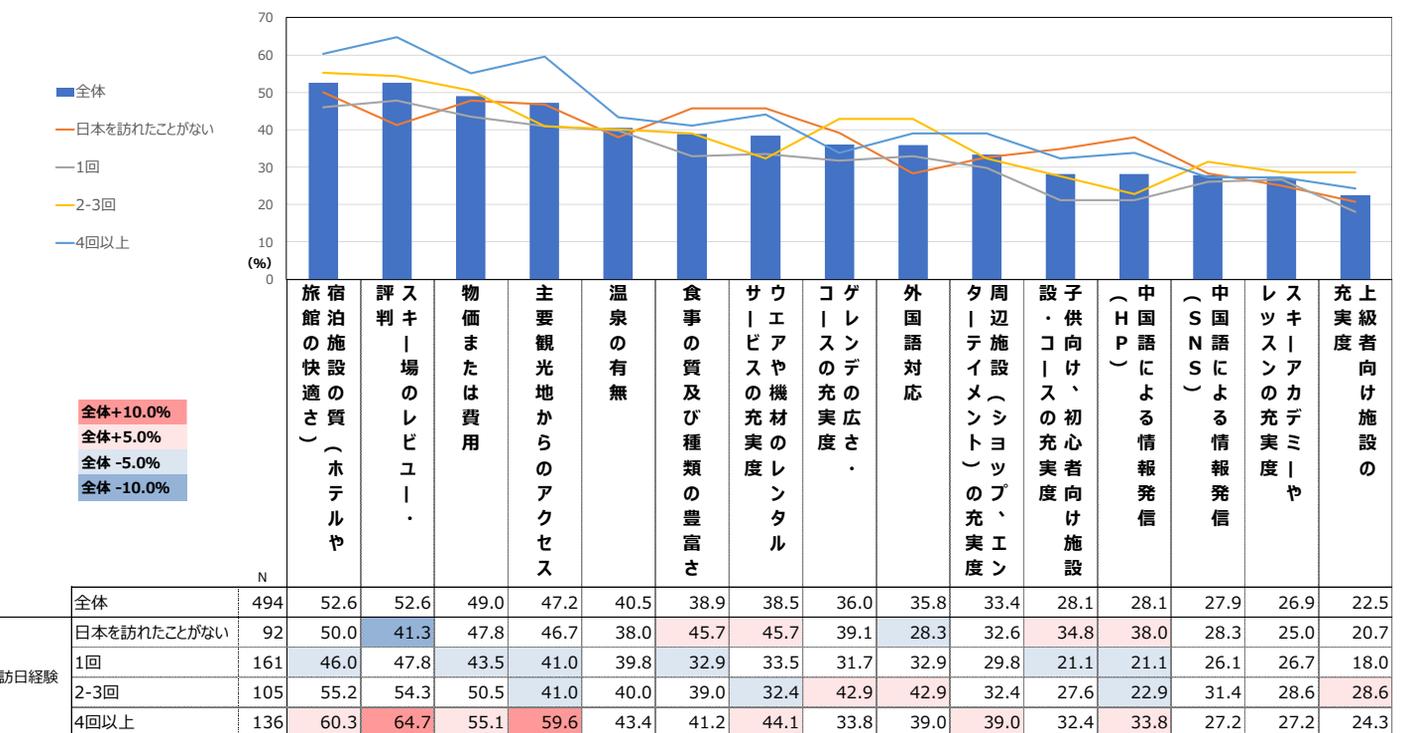
Q.あなたは、以下のうち、今後利用してみたい日本のスノーリゾートやスキー場はありますか？(複数回答)



●日本のスノーリゾートを選ぶ際のポイント：

- ・「宿泊施設の質」「スキー場のレビュー・評判」が52.6%と最も高く、「物価または費用」「主要観光地からのアクセス」「温泉の有無」が4割台と続いており、スノーリゾートでの観光を効率よく確実に楽しみたいという気持ちが強いようです。
- ・「訪日経験なし」は、「食事の質」「レンタルの充実」「子供向け・初心者向け施設やコース」、そして「中国語での情報発信」を重視。初めてでも体験しやすい環境づくりと情報発信が求められているようです。

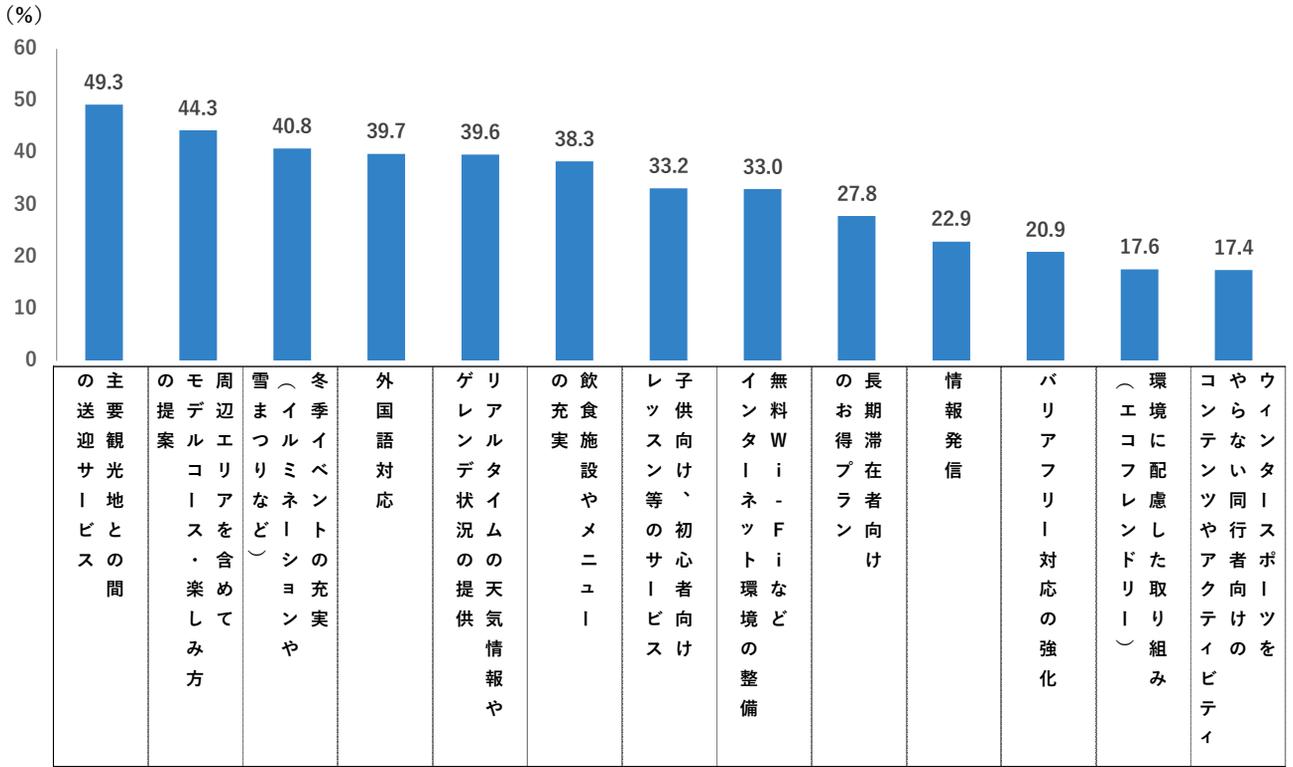
Q.あなたは、日本のスノーリゾートやスキー場を選ぶ時に、どのようなことを気にしますか。(複数回答)



●日本のスノーリゾートやスキー場に求める改善点：

今後訪日する際にウィンタースポーツを楽しみたいと回答した中国人生活者が全体の9割（90.5%）にのぼる一方、日本のスノーリゾートやスキー場に求める改善点としては、「主要観光地との間の送迎サービス49.3%」が最も高く、「周辺エリアの楽しみ方の提案44.3%」「冬季イベントの充実40.8%」と続き、**ウィンタースポーツ体験追求のさらなる機運醸成への課題も浮き彫りになりました。**

Q. あなたは、以下のうち、日本のスノーリゾートやスキー場を利用したくなる／より利用したくなるために、どのようなところを改善してほしいと思いますか。（複数回答）



全体ベース：N=546ss

中国人生活者のウィンタースポーツ意識、いかがでしたでしょうか。今後も北海道博報堂新どさんこ研究所では、本社MTCとともに成長するインバウンド市場の分析を進め、道内外におけるマーケティング活動を支援してまいります。どうぞご期待ください。

（※）訪日旅行に対する中国生活者の意識や行動に関する集計・分析結果の詳細は、株式会社博報堂DYホールディングス発表リリースにてご参照ください。

URL：<https://www.hakuhodody-holdings.co.jp/news/corporate/2025/04/5384.html>

<第4回調査概要：5月インバウンド予報調査>

- ・調査対象都市：北京、上海、広州、深セン
- ・調査対象者：20歳～49歳までの男女
- ※2023年1月～2024年12月の間、海外渡航中に生活情報プラットフォーム「大衆点评」の利用者
- ・サンプル数：合計546人
- ・調査期間：2024年12月25日～2025年2月6日
- ・調査手法：ミニプログラムによるインターネット調査
- ・調査機関：北京雲捷亮数科技有限公司



北海道博報堂「新どさんこ研究所」（新ど研）とは？

北海道民の今の姿をデータで明らかにしながら、「一步先の北海道民=新どさんこ」と定義して、その変化を予測・提言する（株）北海道博報堂が設立した研究組織。

お問い合わせ先

株式会社 北海道博報堂
新どさんこ研究所

☎011-251-0175 / ✉shindoken@hakuhodo.co.jp

公式 HP

<http://shindoken.com/>

過去のレポートはこちら！

